



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 村 上 泰 啓
幹 事 小 原 一 眞 会 報 委 員 長 泉 浩 一



Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2471

2020-10-23

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会) 10月23日(第4例会)

●例会場

シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

●卓話 「日本語のホンネと建前」

言葉のウラに秘められた空想や妄想を一緒に振り返っていきます。

細川直人会員

●ゲスト&ビジター (敬称略)

直前ガバナー補佐 北村 譲 (大阪中之島)

●10月21日(水)RAC例会出席者 (敬称略)

岡部(倫) 石濱 泉 田中

◆ 会長の時間 ◆

先週の10月10日(土)に「公共イメージ向上並びにクラブビジョン策定セミナー」にWEB参加しました。14:00~16:30までの2時間30分のセミナーでした。本日は「公共イメージ向上について」要点だけをお伝えします。

- ・簡ガバナーの開会挨拶がありました。
- ・立野純三パストガバナーによる2020-21の決議案説明及び2022年規定審議会制定案内が行われました。結論だけ申しますと「それぞれ地区のロータリアンの皆さんがRIの今後の方向性についておかしいと思っていたり、ここは変えないといけないと思っていることがあるのであれば、決議案や制定案を各クラブから積極的に出してほしい」というお話でした。
- ・樋口信治公共イメージ委員会委員長から、ロータリーの認知度をいかに広めるか?というお話で
 - 1.ロータリークラブの公共イメージと認知向上が重要だ。
 - 2.ロータリアン一人ひとりが広報マンだ。
 - 3.奉仕プロジェクトに参加しよう。と、お話されました。
- ・新倉雄二同委員会副委員長からは、「Withコロナ時代の奉仕プロジェクトでクラブ活動の活性化を!」というお話でした。奉仕プロジェクトの共感を作る3つのポイントとして
 - 1.人に感動を与える。
 - 2.「モノ」から「仕組みづくり」へ。
 - 3.地域コミュニケーションのハブになるという内容で各地のロータリーの活動事例が紹介されました。
- ・下條康人同委員会副委員長からは、「ロータリー賞がなぜ必要か?」と「My ROTARYを活用しましょう」という話がありました。ロータリー賞については2660地区におけるロータリー賞の推移がクラブ総数80の内、2016-17:1、2017-18:6、2018-19:49、2019-20:66クラブが受賞しました。城南RCも中谷年度から受賞しています。
- ・ロータリー賞はなぜ必要か?ですが、ロータリー賞を受賞しているクラブは未受賞のクラブに比べ会員が増加している傾向にあります。

2018-19	純増クラブ	33	(内ロータリー賞	28)
2019-20	純増クラブ	29	(内ロータリー賞	26)

 大阪城南ロータリークラブは、今年度もロータリー賞を受賞したいと思えます。

次週のお知らせ) 10月30日(第5例会)

休 会

次々週のお知らせ) 11月6日(第1例会)

●例会場

シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

●表彰・ホームクラブ連続皆出席

●お祝 誕生日 結婚記念日 入会記念日 会社創立記念日

●卓話 「ロータリーとポリオ根絶活動」

ロータリーはなぜ『ポリオ』と深く関わってきたのか、また『根絶』しなければならない理由は何か。

地区ロータリー財団委員会

ポリオプラス小委員会

委員長 高士誠司氏(大阪西北RC)

(中谷佳正R財団・米山奨学委員長担当)

●理事会 11:30~12:10

シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

●食膳 <日本料理 松花堂弁当>

先週の記事) 10月16日(第3例会)

●出席報告

出席会員 38名 (内免除会員 8名)

会員総数 46名 (同上 14名)

ゲスト 0名

ビジター 1名

計 39名

ホームクラブ出席率95.00%

10月2日(第1例会)補正出席率100%(MU3名)

<4つのテスト> 言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

また「My ROTARYの活用について」は、大阪城南RCの登録率は100%ですから地区の平均登録率66.9%を大きく上回っています。あとはクラブセントラルやクラブショーケースの活用を図りたいと思いますが、クラブショーケースでは山本(智)IT推進委員長の下「私の履歴書」を企画し順次増やしている最中です。このプロジェクトは他のクラブに先駆けた素晴らしいショーケースになっています。皆さんの所に順番が来ましたらご協力をお願いします。

・下出一同委員会副委員長から「SNSで情報発信しましょう」という話がありました。「各クラブにはホームページがあるが、そのホームページに誘導するにはSNSが大切だ」というお話でした。

・片山勉パストガバナーからクラブビジョン策定・戦略計画についてという講演がありました。これについてはまたの機会に回します。

今日述べましたことは全くの概略ですが、地区ホームページの地区委員会情報—公共イメージ向上委員会から詳細や動画を見ることが出来ます。会員の皆様チェックしてください。

◆ ビジターご挨拶 ◆

大阪中之島RC 北村 讓 直前ガバナー補佐



本日の例会にお声掛け頂き、ありがとうございます。再生医療・創薬に関してiPS細胞の研究開発に期待しております。貴クラブの京都大学iPS細胞研究所への寄付活動など、大変意義のある社会貢献活動に対して感謝申し上げます。

卓話

10月16日 <第3例会>

「iPS細胞研究の現在と未来」(録画映像)



京都大学iPS細胞研究所
基金室長 小山房男氏
(浅井 晃プログラム委員長担当)

iPS細胞研究所(CiRA)は、iPS細胞の医療応用を目指しています。論文を出すだけに留まらず、基礎研究を実用化し、患者さんに届けることが我々の目標です。

患者さんにお届する方法として、私たちは2つの柱を考えています。1つは「再生医療」、もう1つは「薬の開発」です。

「再生医療」は、ケガや病気で失われた細胞や組織を、体の外で作られた細胞を用いて、その機能を回復させる試みで、パーキンソン病・血小板減少症・膝関節軟骨損傷等の研究を行っています。

「薬の開発」は、患者さん由来のiPS細胞を用いて病気を起こしている組織を再現し、病気の仕組みや適した薬を分析する試みで、FOP、ALS、家族性アルツハイマー病等の研究を行っています。

今年、新たな取組として、大学等と企業の橋渡しを担う、公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団(iPS財団)を始動しました。今後はCiRAとiPS財団が連携し、iPS細胞の実用化を目指します。



▲卓話



▲卓話



▲卓話



▲卓話



▲委嘱状・岡部(倫)会員、境会員



▲浅井プログラム委員長

会員増強にご協力を!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

にこにこ箱

10月16日(第3例会)

- ようこそ！北村直前ガバナー補佐。
村上(泰)会員
- 北村さん、よくいらっしゃいました。
岡部(泰)会員
- 北村直前ガバナー補佐ようこそ。
中谷会員
- iPS細胞研究所、基金室長のDVD講演となりました。
プログラム委員会
- ピアノリクエストB-3 ベートーベン「悲愴」、
よろしくお祈いします。
南賀会員
- 先日、シェラトン都ホテル大阪さんにお世話に
なりました。
三宅会員
- 三宅さん、有難うございました。お疲れ様。
宮田会員
- 石濱さん、有難うございました。花屋敷の18番で
見事に玉砕！
平田会員・三宅会員
- 会長、私の大切なサンドウェッジを保護してく
ださり、有難うございました。
小林(正)会員
- 村上会長、ご馳走様でした。
村上会長応援団
- 細川さんのニコニコを私の間違いで「濱田会員」
と会報に掲載してしまいました。ゴメンナサイ
野村会員
- その他、お祝い 1件

(編集担当 野村・三宅)

会員増強にご協力を!!